

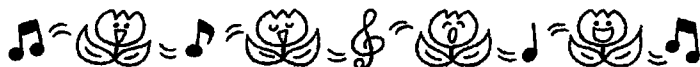
# ほほえみ



爽やかな気候の中、子ども達は園庭で砂遊びや固定遊具で遊んでいます。5月中旬以降は気温が高くなり、身長の高い子どもは地面の照り返して大人よりも7℃ほど熱く感じるといわれています。こまめな水分補給や日陰での休憩を取り入れて熱中症に気をつけながら、元気に過ごしたいと思います。水分をすすめても余り口にしないお子さんもいますが、ご家庭でも声掛けをお願いいたします。

## こいのぼりをつくったよ

絵の具、ハサミ、のり、クレパス指導を兼ねてこいのぼりを作りました。幼稚園に入って、初めて絵の具を体験した子どもが多かったと思います。今回は、筆を使わず、手で描きました。最初は、絵の具に触れることに緊張していた子どももいましたが、1度触ったら、そこからは手が止まらないほど楽しんでいました。用意した色は、赤、黄色、青、白の4色です。パレットの上で色を混ぜてみると色の変化に驚いていました。最初は指で色の変化を楽しんでいた子ども達でしたが、最後はみんな両手で全色を混ぜ合わせ手形を楽しんでいました。子どもは、「何だろう?」「どうして?」を沢山見つけると、興味の幅が広がっていきますね。幼児の描く絵は、どれも素敵。みんな『芸術家』です。この時期の子どもにしか描けない表現を大切にしながら、これからも、感動体験ができるような、なげかけを沢山していきます。



## 戸外遊びが大好き

今年につばめ組さんは戸外遊びが大好き!『早く外で遊びたい!』と上履きで園庭に行ってしまうほどです。そして、裸足になって固定遊具を楽しんだり、砂場で水を使って遊んだりしています。先日も早速砂場で水を使った遊びが始まりました。楽しすぎて泥水に座ったり寝転んだりという子どももいました。1度幼稚園で洗濯をしましたが、完全に落ちずご迷惑をおかけしました。気温が上がってくると子どもたちは思う存分 砂や泥遊びを楽しみます。泥は洗濯しても落ちにくいので、黒っぽいTシャツを用意して持たせていただくと助かります。よろしくをお願いいたします。



## けんかで学ぶ

友達に目が向き同じ場所にいる心地よさも感じられるようになってきています。「おいで」「かして」などの言葉も少しずつ聞かれるようになってきました。しかし、仲良く笑っていても一瞬で起こるのがけんかです。「お気に入りのおもちゃを友達にとられた」「わたしの椅子にだれか座っている」初めての集団生活、この時期は自我の芽生えと共に、自己主張が激しくなるので、自分の所有感が侵された時や自分の欲求が満たされない時などに、けんかになる時があります。発語が未熟な分、手が出る場合も見られます。園は集団生活の場なので、家庭とは同じようにいかない場合もあります。しかし、自分とは違う思いをもつ他者の存在のを知る機会になります。また、保育者の仲立ちのもとで、言葉で自分の思いを伝える手段を覚えていきます。相手に自分の思いが伝わる経験を積み重ねながら、コミュニケーションの基礎が築かれていきます。けがには十分気をつけながら、双方の気持ちや葛藤を受け止め気持ちを整理できるようにしていきます。

## 5月のねらい

- 保育者や友達に親しみを感じ、一緒に遊ぶことを喜ぶ。
- 身近な自然にふれながら、戸外で遊ぶ楽しさを味わう。



戸外で遊ぶ機会を多くし、身体を動かすことの心地よさを感じられるようにしていきたいです。3歳児は特に、何も無い所ですつまずいたり転んだり、視野が狭いため友達とぶつかることも多いです。安全には、十分留意していきますが、擦り傷や軽い打撲が増えてしまうかもしれません。転んでも自分の体を両手で支えることができるなど、身体能力を高めていけるように、基本的な動きをしっかりと身に付けさせていきたいです。そのためには、毎日身体を動かす遊びが大切ですね。ご家庭でも公園へ行って遊ぶ、散歩をするなど戸外遊びができるよう、ご協力をお願いいたします。(友達の手当てをうらやましがり、けがではないところに絆創膏などを貼って帰るときもあります。)